

トレンド・ナビゲーション・オープン

追加型投信／内外／資産複合

作成対象期間：2016年8月30日～2021年7月15日

第 5 期 信託終了日：2021年7月15日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは、世界各国の株式・債券・不動産投資信託（リート）および商品等の幅広い資産へ実質的に投資しました。また、あらかじめ設定した目標リスク水準に基づき、投資対象資産の価格トレンドに応じた定期的な資産配分を行うことを基本として運用を行ってまいりました。なお、為替変動リスクの低減をはかるため、外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行ってきました。ここに運用経過をご報告申し上げます。今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

第5期末（2021年7月15日）

償還価額 9,366.30円

純資産総額 548百万円

第1期～第5期

騰落率 -6.3%

分配金合計^(*) 0円

(*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・
ダウンロード方法




<https://www.am.mufg.jp/>

【ファンド関連情報】
を選択

【償還ファンド一覧】
を選択

当ファンドのファンド名称の
右欄の運用報告書（全体版）
を選択

 **MUFG** 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル  **0120-151034**

（受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

運用経過

第1期～第5期：2016年8月30日～2021年7月15日

設定来の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第1期首	10,000円
第5期末	9,366.30円
既払分配金	0円
騰落率	-6.3%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

償還価額は設定時に比べ6.3%の下落となりました。

▶ 基準価額の主な変動要因

下落要因

先進国債券や先進国株式の価格変動などが基準価額の下落要因となりました。

2020年7月16日～2021年7月15日

1 万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	97	1.039	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(62)	(0.663)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(31)	(0.332)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.044)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.005	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.004)	
(先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	(0)	(0.001)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	2	0.020	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.015)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	99	1.064	

期中の平均基準価額は、9,353円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

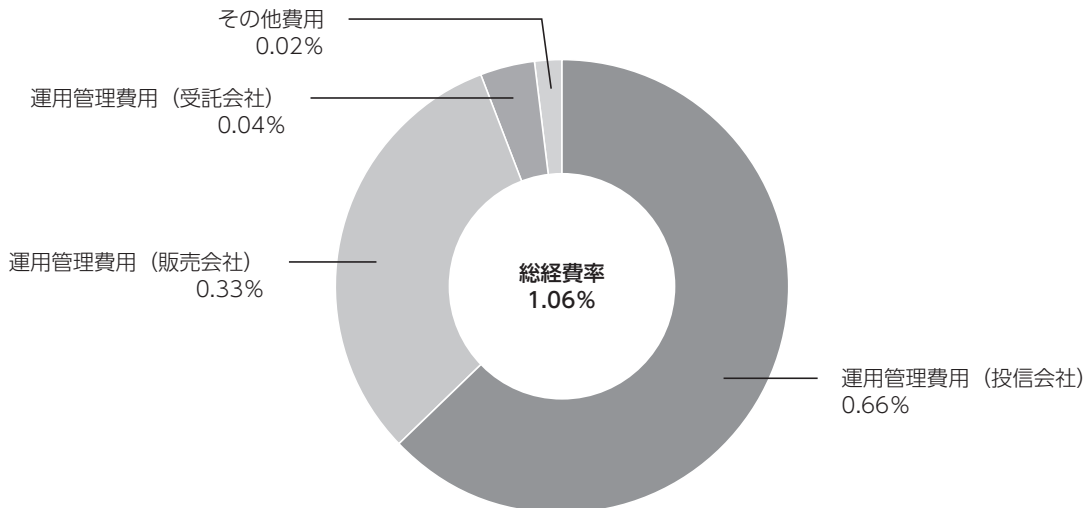
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.06%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2016年7月15日～2021年7月15日

最近5年間の基準価額等の推移について



最近5年間の年間騰落率

			2017/7/18 期初	2018/7/17 決算日	2019/7/16 決算日	2020/7/15 決算日	2021/7/15 信託終了日
基準価額 (円)	-	-	9,948	9,680	9,806	9,384	9,366.30
期間分配金合計 (税込み) (円)	-	-	-	0	0	0	-
基準価額騰落率 (%)	-	-	-	-2.7	1.3	-4.3	-0.2
純資産総額 (百万円)	-	-	2,399	1,872	1,396	934	548

※騰落率および期間分配金合計については、年間の値を表示しており、期間が1年に達していない場合には表示していません。

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

第1期～第5期：2016年8月30日～2021年7月15日

投資環境について

- ▶ **先進国株式（除く日本）市況**
日本を除く先進国の株式市況は、上昇しました。

設定時から米トランプ前政権の政策による経済成長期待や、各国の堅調な経済指標、各国中銀のハト派的な政策などを背景に上昇しました。2020年2月中旬以降は、新型コロナウイルスの感染拡大による実体経済停滞への懸念が高まったことなどを受けて大幅に下落した局面があったものの、その後は各国政府および中央銀行の政策に対する期待などから景気回復への楽観的な見方が広まったことなどを背景に上昇し、信託期間を通じて上昇しました。

- ▶ **国内株式市況**
国内の株式市況は、上昇しました。

設定時から2018年1月末にかけては、海外先進国の株式市況の堅調な動きや、衆議院選挙の結果を受けた安定的な政権運営への期待などを背景に上昇しました。海外先進国の株式市況と同様に、新型コロナウイルスの感染拡大による実体経済停滞への懸念が高まったことを受け、2020年2月中旬以降は大幅に下落した局面があったものの、その後は世界的な株式市況の上昇を受け、信託期間を通じて上昇しました。

- ▶ **新興国株式市況**
新興国の株式市況は、上昇しました。

- ▶ **先進国債券（除く日本）市況**
日本を除く先進国の債券利回りは、低下しました。

設定時から2018年中旬にかけては、米連邦公開市場委員会（FOMC）における保有資産縮小の表明など、金融緩和が縮小するとの見方などから上昇した場面があった一方、その後は世界経済に対する先行き不透明感の高まりや、新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念などから投資家のリスク回避姿勢が高まったこと、また各国の中央銀行がハト派的な姿勢を示したことなどから低下しました。

- ▶ **国内債券市況**
国内の債券利回りは、小幅に上昇しました。

国内の債券利回りは、2019年には海外先進国の債券利回りの低下などを受け、低下する局面があったものの、その後は各国による大規模な財政政策などを背景に上昇し、信託期間を通じてみると小幅に上昇しました。

- ▶ **新興国債券市況**
新興国の債券利回りは、まちまちな動きとなりました。

- ▶ **リート、コモディティ**
リート、原油、金は、設定時と比較して上昇しました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ トレンジ・ナビゲーション・オープン

信託期間を通じて、トレンジ・ナビゲーション・マザーファンド受益証券を主要投資対象としており、実質的な運用はマザーファンドで行ってまいりました。

第5期（2020年7月16日～信託終了日）は、前記の運用を維持し、信託終了日にかけてマザーファンドの償還金を受領しました。

▶ トレンジ・ナビゲーション・マザーファンド

信託期間を通じて、当ファンドは日本を含む先進国の国債等ならびに、世界各国の株式・債券・不動産投資信託および商品等を実質的な投資対象とする上場投資信託証券等ならびに世界各国の有価証券先物取引に係る権利等を主要投資対象としてまいりました。また、あらかじめ設定した目標リスク水準に基づき、投資対象資産の価格トレンドに応じた定期的な資産配分を行うことを基本として運用を行いました。なお、為替変動リスクの低減をはかるため、外貨建資産については原則として対円で為替ヘッジを行いました。運用指図の権限は、アリアンツ・グ

ローバル・インベスターズ・ジャパン株式会社に委託してまいりました。

設定時から償還時まで、上記の方針に基づきポートフォリオの運営を行ってまいりました。

2018年12月においては、過去1年間の高値からの下落率が5%を超過したことから、短期金融資産等への配分を100%とし、2019年2月までその状態を維持しました。2月以降、過去1年間の高値からの下落率が十分縮小したことから、その他の資産の組入を再開しました。

その後、2020年2月までは、先進国株式などのトレンジが好転したことなどから、先進国国債への配分比率を高位としつつも、先進国株式といった比較的リスクの高い資産クラスへの配分を段階的に引き上げる投資行動を取りました。

2020年3月には、過去1年間の高値からの下落率が5%を超過したことから、短期金融資産等への配分を100%としました。過去1年間の高値からの下落率が十分縮小したことから、2021年3月にその他の資産の組入を再開しました。

償還に向けて2021年6月下旬に保有資産の売却を開始し、安定運用に切り替えました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

▶ 分配金について

信託期間中の収益の分配はありません。

▶ 償還価額

▶ **トレンド・ナビゲーション・オープン**

償還価額は、9,366円30銭となりました。

信託期間中はご愛顧を賜り、誠にありがとうございました。

お知らせ

▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

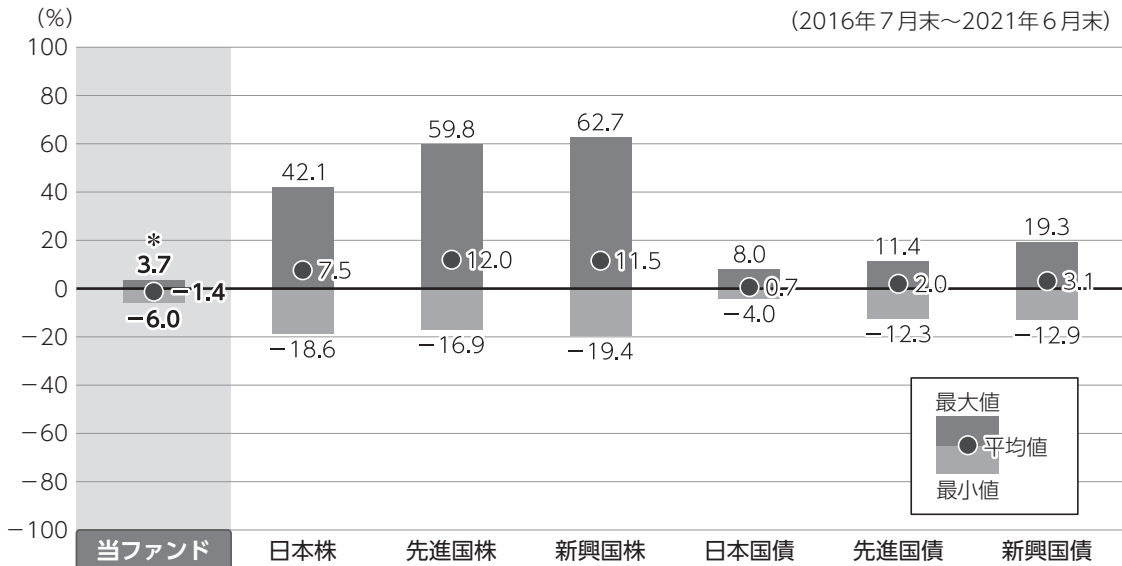
▶ その他

- ・該当事項はありません。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2021年7月15日まで（2016年8月30日設定）
運用方針	<p>トレンジ・ナビゲーション・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む先進国の国債等ならびに、世界各国の株式、債券、不動産投資信託および商品等を実質的な投資対象とする上場投資信託証券等ならびに世界各国の有価証券先物取引に係る権利等に投資を行います。</p> <p>マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。</p> <p>効率的な運用に資するため、有価証券先物取引等を行うことができます。</p> <p>実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかります。</p> <p>マザーファンドの有価証券等に関する運用指図の権限をアリアンツ・グローバル・インベストアーズ・ジャパン株式会社に委託します。</p>
主要投資対象	<p>■当ファンド</p> <p>トレンジ・ナビゲーション・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。</p> <p>■トレンジ・ナビゲーション・マザーファンド</p> <p>日本を含む先進国の国債等ならびに、世界各国の株式、債券、不動産投資信託および商品等を実質的な投資対象とする上場投資信託証券等ならびに世界各国の有価証券先物取引に係る権利等を主要投資対象とします。</p>
運用方法	<p>主として日本を含む先進国の国債等ならびに、世界各国の株式、債券、不動産投資信託および商品等を実質的な投資対象とする上場投資信託証券等ならびに世界各国の有価証券先物取引に係る権利等を実質的な投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。</p>
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、収益分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）</p> </div>

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2016年7月から2021年6月の5年間に於ける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

*ファンドについては2017年8月～2021年6月の同様の騰落率を表示したものです。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2021年7月15日現在

▶ 当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド

信託終了日現在、有価証券の組み入れはありません。

純資産等

項目		信託終了日 2021年7月15日
純資産総額	(円)	548,514,876
受益権口数	(口)	585,626,067
1万口当たり償還価額	(円)	9,366.30

※当期中において追加設定元本は 2,538,701円
同解約元本は413,176,375円です。

種別構成等

資産別配分



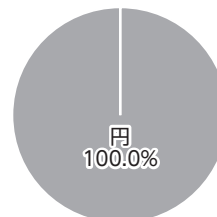
※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類していません。

国・地域別配分



※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余剰資金等と合せて運用しているものを含みます。

通貨別配分



指数に関して

▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

●東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

●MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

●JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出して公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。





三菱UFJ国際投信